

S&Uだより

2022年3月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

safety & useful 発行 No292

3月の声を聴き もう雪は終わりでしょうか？と思いますが 天気予報によると 3月の中頃までまだ少し雪が降るようです。2021-2022 この冬は 結構降りました。福井、石川あたりは 屋根雪を降ろすほどではないにしても 20cmほど降って解けて また 20cmほど降って・・・という感じで 山沿いでは日当たり悪く解けない上に降る という繰り返りで「北陸らしい普通の降雪量」だったように思います。北海道、東北を含め新潟以北は 平年より雪の多い冬だったのではないのでしょうか？↓気象庁発表 さて、2022年 今年の気候はどんなものなのでしょうか？気になるところです。

今年の春は、北日本を中心に平年よりも暖かいでしょう。夏は、全国的に猛暑が予想されますので、熱中症に一段と警戒が必要ですし、暑さによって、局地的な大雨になるおそれもあります。気象庁が 25 日に発表した「3か月予報」と「暖候期予報」です。気象庁は、2月25日、「3か月予報」と「暖候期(6月～8月)予報」を発表しました。それによりますと、3月～5月(春)は、北日本を中心に、いつもの春よりも暖かくなりそうです。

【3月】3月は、北からの寒気の影響を受けにくいでしょう。そのため、平均気温は、北日本で「平年より高い」、東日本で「平年並みか高い」、西日本や沖縄・奄美で「ほぼ平年並み」の予想です。

【4月】4月も、気温は同じような傾向の所が多いでしょう。平均気温は、北日本では「平年より高い」、東日本は「平年並みか高い」、西日本は「ほぼ平年並み」の予想です。ただ、沖縄・奄美は、暖かい空気が流れ込みにくくなるため、「平年並みか低い」予想です。

なお、3月～4月の気温は、桜の開花に影響を及ぼします。日本気象協会が2月24日に発表した最新の「2022年桜開花予想(第3回)」によりますと、2022年の桜の開花は、西日本から関東で平年並みの所が多いでしょう。一方、北からの寒気の影響を受けにくいということで、北陸と東北の一部、北海道では、桜のつぼみがどんどん膨らみ、平年より早く開花する見込みです。

【5月】5月になると、北日本の高温傾向は少しおさまりますが、西日本でも高温傾向になるでしょう。平均気温は、北・東・西日本で「平年並みか高い」予想です。東・西日本では、いつもの年よりも、早い時期から、半そでの洋服の出番が増える可能性があります。一方、沖縄・奄美では、暖かく湿った空気が流れ込みやすくなるでしょう。そのため、4月のような低温傾向は解消しますが、低気圧や前線の影響を受けやすくなり、雨の季節となりそうです。なお、平年の梅雨入りは、沖縄は5月10日ごろ、奄美は5月12日ごろの予想です。そして「6月～8月(夏)の暑さがどうなるか」気になるところですが、今年の夏の平均気温は「暖かい空気に覆われやすいため、北・東・西日本では『平年より高い』、沖縄・奄美は『平年並みか高い』」となっております。

猛暑が予想される原因の一つは、地球温暖化です。地球温暖化の影響により、地球全体で大気全体の温度が高いことに加え、上空の偏西風は、日本付近では平年より北を流れることによって、太平洋高気圧の北への張り出しが強まりそうです。そのため、日本付近には、南から暖かい空気が流れ込みやすくなるでしょう。このような予想ですので 2022年、猛暑が予想される原因の一つは、地球温暖化です。地球温暖化の影響により、地球全体で大気全体の温度が高いことに加え、上空の偏西風は、日本付近では平年より北を流れることによって、太平洋高気圧の北への張り出しが強まりそうです。そのため、日本付近には、南から暖かい空気が流れ込みやすくなるでしょう。今年の夏も、いつもより猛暑が予想されますので、熱中症には警戒が必要です。(しかしながら、ここ毎年、現場にはありがたくない予想ですね。)

各地域の数字は左から低い・平年並・高い確率(%)です。



マルジン 3月のカレンダー							雪が解けて 春になって～
日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	ずいぶん春めきまして 山の雪も少しずつ解けてきたようです。
6	7	8	9	10	11	12	現地踏査の時には 圧雪等危険箇所注意！ 現場再開の時には レールの損傷等注意！
13	14	15	16	17	18	19	撤去済み現場では・・・すみません
20	21	22	23	24	25	26	雪の中で紛失した部材が出てきた場合は すぐにご連絡ください！お願いします。
27	28	29	30	31			

2022年3月第292回は～2021現場SOSのまとめ～について

2021年度の現場からのSOSを抜粋しました。移動が6時間以上かかる現場へも 連絡からほぼ24時間以内に対応に伺っています。向かっている途中で「動いた！大丈夫でした」とか 伺ったらアツという間に治る簡単な症状の場合も多いですが「何かあれば マルジンは来てくれる」という安心感とともに **safety & useful** をお届けできたら…と 思います。

【軽量モノレール】

分岐のボルトがつけられなくなったとオペレーターからの連絡があり、翌日現場に伺ったところ、雨による地すべり等の原因で地面が動き 取り付けである分岐が変形(開く)していた。ももとの地滑り調査地の現場であり分岐先レールが動いた模様。危険個所のレールを撤去、危険個所を避け再施工し、持参した分岐と入れ替えた。

【軽量モノレール】

Aルートの終点が高いので直して欲しい当日現場に伺い 終点部を確認したところ 足場が組まれていたが「これに合わせて レールの高さを下げてほしい」との事だった。現場担当者にも確認して「低くしてほしい」とのご依頼であったため 精一杯低めに敷設したが「低め」の感覚が 使用する人の思いと違った。結果として現状以上に低くできないため 地面のほうを削ってレールの高さを調整した。

立会時、受け渡し時に 使用されるオペレーターが現場で確認可能であれば防げることではあるが 難しい場合は今後も発生する可能性が高い。できるかぎり確認不足の無いようつとめたい。

【軽量モノレール】

「単管をぶつけて鋳物の部分が割れた」との連絡あり。翌日現場に伺い確認したところマフラーの下の鋳物の部品が割れていた。長物の単管を運んだ際に、マフラーに接触して破損した模様。過積載と片荷が原因と思われるレールの変形部分も見受けられたため 本機交換、レール変形部も交換施工した。長尺物を運搬する場合「長尺台車」というアタッチメントもあるけれど 付け替えの手間も発生するため 既存の運搬台車で運ばれることが多く 十分注意して運んでいただくよう再度取り扱いの説明をした。

【軽量モノレール】

異常の連絡はなかったが 依頼のあったレール張替え作業の際に「ローラーの開き、シャフト曲がり、分岐中レール隙間拡大、レール返り大」を発見した。このままでの使用は危険なので 会社に連絡し 交換用のローラーをとどけてもらい ローラー交換、分岐、レール修理を実施した。

小型モノレールの最大積載量は200kであるために 立会時の機種選定で「積みすぎないように」とは念を押したが 説明を聞かれていない足場屋さんが過積載、及び分岐の中子レールを ボルトを締めずに走行されたいとの報告を受けた。(分岐の予備ボルトが 分岐の中

子レールに常備してあることも 利用者は知らなかった模様)

運搬物によっては もう一つランク上の中型モノレールを選択してもらおう。モノレール運転講習を使用者全員に実施する、もしくは 運転責任者がきちんと説明する。などご理解いただけるように根気よく説明していこうと思う。

【中量モノレール】

「セルがまわらない」と連絡があった為 電話にて「キースイッチをONにして、リコイルでかけてみてください」と伝えたとこ リコイルならかかるという話なので、バッテリー消耗の疑いもあり、ちょうど点検時も間近だったため 月次点検とからめて当日現場に伺う。キーを回したが全く反応がないので 走行レバー下側のリミットスイッチを確認するとリミットスイッチ(安全装置)がワイヤー止めに引っかかって曲がっていた。

今回でご利用五回目のお客様なので 安全装置については十分ご理解されていると思っていたが 再確認説明の必要性を強く感じた。

【中量モノレール】

中量モノレールの調子が悪いと報告有、現場確認してほしい「エンジンはかかるがすぐ停まる」当日現場に伺うと積雪が50cmぐらいの現場、「モノレールが終点に停まっているため300m以上ある積雪の山を おそらく必要であろうと思える修繕部品等を持ち歩いて登る。連絡があったようにエンジンはかかるがすぐに止まる、高回転が持続しない状態なので プラグを確認すると真っ黒で水が少々混入 であったため プラグ交換、水抜きにて復旧した。モノレールを起点まで運転して戻し 試走をして使用者に説明する「冬場の寒暖差からの湿気による不良、スズで不完全燃焼、半チョークでの走行でスズがたまりプラグ不良」などが考えられることを伝え「プラグ不良のために 予備プラグがセットしてある」ことをお願いした。マルジンが伺わなくても復旧できるSOSであったけれど現場に伺って対応できたことで安心いただけたと思う

【重量モノレール】

長期間長時間利用されている現場の 定期点検時に **セルモーターが回らないことを確認** バッテリー、配線等を調べ セルモーター以外に不調原因が考えられなかったため 会社に連絡入れ 代替モノレール等 想定できる全て部品を届けてもらう段取りをする。現場まで5時間以上かかるため途中で合流 代替機を積載したトラックと車を交換し 翌日朝より現場で修理対応。セルモーター部を交換したところ復旧したので 試走を20回～30回ほど繰り返し原因と思われることを説明し お客様に引き渡した。「セルモーターの劣化、キースイッチの凍結による過電流」原因がどちらかはわからなかったが セルモーターの焼き付きによる故障だった。いずれにしても気温が低く雪が積もるような現場は 作業終了時にシートで本機を養生していただく。鍵穴が凍結した場合用に 解氷スプレーをお渡しした。